

目次

まえがき

凡例

第一章 地震災害痕跡は多くを物語る…………… 1

貞観地震・津波の記憶 2

災禍の伝承は容易ではない 7

地震の爪痕は地盤に残る 13

第二章 二〇一八年北海道胆振東部地震 — 火山碎屑物に覆われた大地に残る地震痕跡 — 19

地震後も緩慢に地盤沈下は続いた 20

夥しい数の斜面災害 25

類似の事例 31

後日譚 42

第三章 二〇一六年熊本地震 — 火山碎屑物に覆われた大地と断層 — …… 47

地形に刻まれた過去、現在、未来 48

	熊本地震で現れた地震断層	52
	火山が覆い隠す痕跡	57
	不思議な地盤沈下	66
第四章	二〇一一年東日本大震災（その二） — 東京湾岸の液状化痕跡 —	75
	液状化した地盤がまた液状化する	76
	液状化地盤の痕跡を記録する	79
第五章	二〇一一年東日本大震災（その二） — 津波で根こそぎ引き抜かれたビル —	89
	女川港の運河構想と埋め立て	90
	津波で根こそぎ引き抜かれたビル	94
第六章	二〇〇七年中越沖地震 — 丘陵の縁辺部で生じた地盤変形 —	99
	砂丘の麓で	100
	鹿島台地の麓で	109
第七章	二〇〇四年中越地震 — 活褶曲地形と地震 —	121
	横穴から水を得る	122

	活褶曲地帯を襲った地震	124
第八章	二〇〇〇年鳥取県西部地震 — 身近な災害痕跡を読み解く知恵 —	133
	人が介在した地形変化	134
	二〇〇〇年鳥取県西部地震	140
	ハザードマップの空白域	145
第九章	一九四八年福井地震 — 九頭竜と河川堤防 —	153
	福井地震があぶりだした昔の九頭竜	155
	あぶり出される昔の河道	163
	地震痕跡の綿密な記録	168
第十章	一八四七年善光寺地震、一九二三年関東大震災 — 土石流の脅威 —	173
	精緻な昔の記録	174
	昔の記録から土石流の速度を推定する	178
	あとがき	187

付録

用語集	192	191
本書記載の地震の年表	207	